平成23年度

＜その他、取組に特徴のある事例＞

○イルミネーションでキラリと輝く里づくり

１．集落協定の概要

市町村･協定名	大分県日田市上諸留町（ひたしかみもろどめまち）　日向野（ひゅうがの）			
協定面積 5.5 ha	田（100%） 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 35 万円	個人配分　0 %			
	共同取組活動 （100%）	農道水路管理費 役員報酬 まちづくり運営費 多面的活動費 事務費		39 % 12 % 14 % 34 % 1 %
協定参加者	農業者　17人			開始：平成22年度

２．取組に至る経緯

日向野集落は、大半の農地は基盤整備済みであるが、農家戸数17戸のうち大部分が兼業農家であり、過疎・高齢化も進んでいることから、平成17年度から中山間地域等直接支払制度を活用し、農地の保全に努めてきたところである。

協定では、集落住民の主体性を尊重した住民参加型の組織づくりを目指し、将来にわたって地域の農地を保全管理するとともに、さまざまな地域資源を活かしたまちづくりを積極的に行うこととしている。

３．取組の内容

質の高い米づくりを協定参加者全員が目指しており、堆肥散布機械を共同リースし有機堆肥の積極的な活用を進めながら他の機械についても共同利用化を図っている。その一方で、毎年12月に集落全体でイルミネーションの設置を行い、集落を訪れる人々と積極的に交流を図ることによって、若者が後継者として定着し安心して農業を営める環境づくりに取り組んでいる。

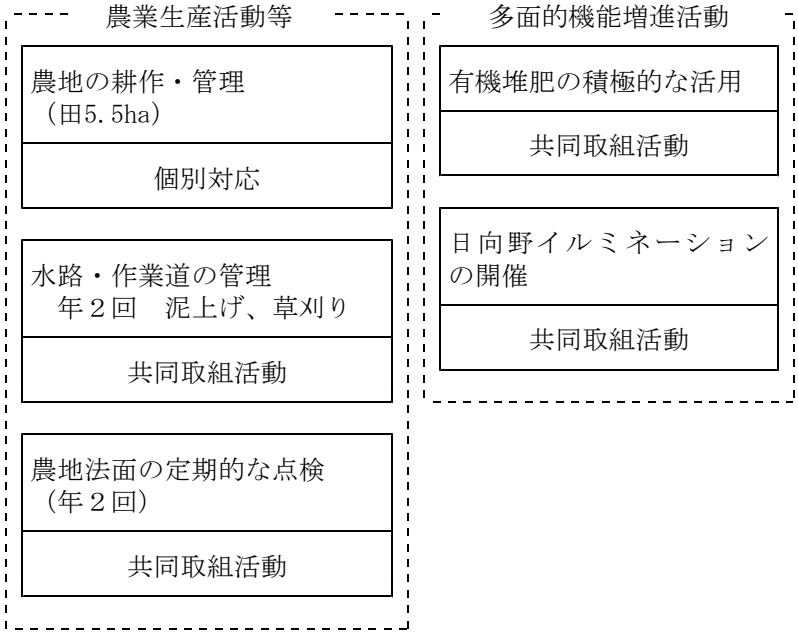
【稲刈り後の様子】

【イルミネーション設置状況】

［集落の将来像］
○ 集落ぐるみの農業生産活動等体制整備

［将来像を実現するための活動目標］
○ 機械・農作業の共同化
○ 有機堆肥の積極的な活用
○ 日向野イルミネーションの開催

［活　動　内　容］



４．今後の課題等

堆肥散布機械の共同リースや日向野イルミネーションの開催を通じて集落内で連帯感が生まれ、独自性のある組織作りが行われている。今後は、日向野イルミネーションを一過性のイベントで終わらせるのではなく、集落を訪れる人々と交流を図り、若者の定住や農業後継者の育成に結びつけることが課題である。

［第２期対策の主な成果］
- 堆肥散布機械の共同利用
- 農道・水路の共同管理
- 日向野イルミネーションの開催